

(3) 特別入試 (推薦入試, 帰国子女入試, 外国人留学生入試)

学部	課程	選抜方法等 選修・専攻・コース	推薦入試							推薦人員	特別入試				専門高校・総合学科卒業生入試	アドミッション・オフィス入試
			入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、調査書のほか次の要件の結果を総合して判定する								帰国子女	外国人留学生	中国引揚者等子女	社会人		
			個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する (推薦A)	個別学力検査を免除し、大学入試センター試験を課す (推薦B)	実技検査等			その他	外国語におけるリスニングテストを課す							
教育	初等教育教員養成課程	幼児教育選修	×	○	×	○	×	×	×	6名	×					
		教育科学選修	○	×	×	○	○	×	×	4名						
		国語選修	×	×	×	×	×	×	×	×						
		社会選修	×	×	×	×	×	×	×	×						
		数学選修	×	○	×	○	×	×	×	2名						
		理科選修	×	○	×	×	×	×	×	24名						
		生活科選修	×	○	×	○	×	×	×	5名						
		音楽選修	○	×	○	○	○	×	×	2名						
		美術選修	×	×	×	×	×	×	×	×						
		保健体育選修	○	×	○	○	○	×	×	8名						
		家庭選修	×	○	×	○	×	×	×	9名						
		英語選修	×	○	×	○	×	×	×	2名						
		日本語教育選修	×	○	×	○	×	×	×	6名						
		情報選修	×	○	×	○	×	×	×	2名						
学部	中等教育教員養成課程	教育科学専攻	○	×	×	○	○	×	×	1名	○	○	×	×	×	×
		国語・書道専攻	×	×	×	×	×	×	×	×						
		社会専攻	×	×	×	×	×	×	×	×						
		数学専攻	×	○	×	○	×	×	×	6名						
		理科専攻	×	○	×	×	×	×	×	20名						
		音楽専攻	○	×	○	○	○	×	×	1名						
		美術専攻	×	×	×	×	×	×	×	×						
		保健体育専攻	○	×	○	○	○	×	×	4名						
		技術専攻	○	×	×	○	○	×	×	2名						
		家庭専攻	×	○	×	○	×	×	×	2名						
		英語専攻	×	○	×	○	×	×	×	1名						
		情報専攻	×	○	×	○	×	×	×	1名						
	特別支援学校教員養成課程	○	×	×	○	○	×	×	4名	×						
	養護教諭養成課程	×	○	×	×	×	×	×	10名							
教育支援専門職養成課程	心理コース	×	○	×	○	×	×	×	20名	○						
	福祉コース	×	○	×	○	×	×	×	6名							
	教育ガバナンスコース	×	○	×	○	×	×	×	10名							

(注) 本学では、専門高校・総合学科卒業生入試及びアドミッション・オフィス入試は実施しません。

2. 特別入試

(1) 推薦A：大学入試センター試験を課さない推薦入試

実施学部	教育学部
募集人員	1頁「I. 募集人員」推薦Aの欄に記載のとおり
試験期日	平成30年12月1日(土)・12月2日(日)
入試方法	<p>大学入試センター試験を免除し、提出された推薦書、調査書、志望動機書及び各課程・選修・専攻で定める別表1「入学者選抜方法等」(3)特別入試15頁の推薦入試(推薦A)の欄に示す要件の結果を総合して行います。</p> <p>選考要件及び配点は、別表3「特別入試(推薦A)」1)推薦A31頁に記載のとおりです。</p> <p><実技について></p> <p>(1)音楽選修及び音楽専攻の実技は、次のA、B両方を課します。</p> <p style="padding-left: 2em;">A. ピアノの任意の一曲</p> <p style="padding-left: 2em;">B. 声楽または任意の楽器による任意の一曲</p> <p>※声楽の場合は、伴奏譜を出願書類と共に提出してください。</p> <p style="padding-left: 2em;">Bの楽器はピアノ以外とし、持参のこと。ただし、伴奏は無しとします。</p> <p>(2)保健体育選修及び保健体育専攻の実技は、競技歴調査書に記載した種目の実技を行い、当該種目の競技力を検査します。</p> <p>※本学所定の「保健体育志願者健康診断書」(平成30年7月発表予定の推薦入試募集要項に同封)により<u>負荷心電図の所見</u>を提出してください。なお、志願者は各自で、所見の有無を確認してください。</p> <p>もし、異常所見がある時には、さらに精密検査を受け、その検査結果を併せて提出してください。その内容によっては実技検査の一部を受験させないことがあります。</p>
出願期間	平成30年11月1日(木)から11月7日(水)まで (出願は郵送に限ります。11月7日(水)17時までに入試課に必着)
合格発表日	平成30年12月17日(月)
出願要件	<p>次のすべてに該当し、学校長が「課程・選修・専攻・コースが望む学生像」に合致しているとして、責任をもって推薦できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。)を卒業した者及び平成31年3月に卒業見込みの者 2. 調査書の学習成績概評がB(全体の評定平均値が3.5)以上の者 3. 初等教育教員養成課程保健体育選修及び中等教育教員養成課程保健体育専攻を志願する者は、高等学校在籍中に次の種目において全国大会以上の試合に選手として出場し、かつ競技した者であること。 種目：バスケットボール、バレーボール、ハンドボール、 体操競技、陸上競技、水泳(競泳)、ダンス(創作ダンス) 4. 合格した場合、必ず入学することを確約できる者

出願時の留意事項	<p>1. 各高等学校長が推薦できる人数は、募集する課程・選修・専攻ごとに1校につき各3名以内とします。</p> <p>2. 同一生徒が、国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）へ出願することができるのは、一つの大学・学部（課程・選修・専攻）に限ります。</p> <p>※ 本学においては、推薦Aと推薦Bの両方を実施する課程・選修・専攻・コースがないため、その可否に関わらず、同一生徒を推薦A及び推薦Bの両方に出願することはできません。</p>

(2) 推薦B：大学入試センター試験を課す推薦入試

実施学部	教育学部
募集人員	1頁「I. 募集人員」推薦Bの欄に記載のとおり
試験期日	平成31年2月2日(土)
入試方法	<p>大学入試センター試験，提出された推薦書，調査書，志望動機書及び各課程・選修・専攻・コースで定める別表1「入学者選抜方法等」(3)特別入試15頁の推薦入試(推薦B)の欄に示す要件の結果を総合して行います。</p> <p>大学入試センター試験の利用教科・科目等及び個別学力検査等の配点については，別表3「特別入試(推薦B)」2)推薦B 32～33頁に記載のとおりです。</p>
出願期間	平成31年1月21日(月)から1月25日(金)まで (出願は郵送に限ります。1月25日(金)17時までに入試課に必着)
合格発表日	平成31年2月13日(水)
出願要件	<p>平成31年度大学入試センター試験における試験教科・科目のうち，本学が課した教科・科目をすべて受験する者で次のすべてに該当し，学校長が「課程・選修・専攻・コースが望む学生像」に合致しているとして，責任をもって推薦できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。)を卒業した者及び平成31年3月に卒業見込みの者 2. 調査書の学習成績概評がB(全体の評定平均値が3.5)以上の者 3. 合格した場合，必ず入学することを確約できる者
出願時の留意事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各高等学校長が推薦できる人数は，募集する課程・選修・専攻・コースごとに1校につき各3名以内とします。 2. 同一生徒が国公立大学の推薦入試(大学入試センター試験を課す場合，課さない場合を含めて)へ出願することができるのは，一つの大学・学部(課程・選修・専攻・コース)に限ります。 <p>※ 本学においては，推薦Aと推薦Bの両方を実施する課程・選修・専攻・コースがないため，その可否に関わらず，同一生徒を推薦A及び推薦Bの両方に出願することはできません。</p>

(3) 帰国子女入試

実施学部	教育学部
募集人員	1頁「I. 募集人員」帰国子女入試の欄に記載のとおり
試験期日	平成30年11月24日(土)
入試方法	大学入試センター試験を免除し、小論文、面接、学力検査、実技検査及び出願書類の結果を総合して行います。
出願期間	平成30年10月15日(月)から10月19日(金)まで (出願は郵送に限ります。10月19日(金)17時までに入試課に必着)
合格発表日	平成30年12月17日(月)
出願要件	<p>日本国籍を持つ者及び日本国の永住許可を得ている者であって、保護者の海外勤務に同伴して海外に在住(保護者帰国後1年未満の滞在は可)し、外国の学校教育を受け、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たしている者</p> <p>1. 基礎資格 次のいずれかに該当する者で、平成31年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>ア. 学校教育における12年の課程を修了した者及び修了見込みの者</p> <p>イ. 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者</p> <p>ウ. ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者</p> <p>エ. フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者</p> <p>2. 要件 次に掲げるすべての要件に該当すること。</p> <p>ア. 平成31年4月1日において基礎資格取得後2年以内であること。 (平成29年4月1日から平成31年3月31日までの間に取得していること。)</p> <p>イ. 12年の課程には日本における通常の課程による学校教育の期間も含まれるが、外国において最終学年を含めて2年以上継続して学校教育を受けていること。 (外国に設置されたものであっても日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなさない。)</p>

(4) 外国人留学生入試

実施学部	教育学部
募集人員	1頁「I. 募集人員」外国人留学生入試の欄に記載のとおり
試験期日	平成31年2月26日(火)
入試方法	大学入試センター試験を免除し、日本留学試験、本学で実施する学力試験等(小論文、面接、学力検査、実技検査)及び出願書類の結果を総合して行います。
出願期間	平成31年1月21日(月)から1月25日(金)まで (出願は郵送に限ります。1月25日(金)17時までに入試課に必着)
合格発表日	平成31年3月8日(金)
出願要件	<p>外国人であって日本国の永住許可を得ていない者で、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たしている者</p> <p>1. 基礎資格</p> <p>次のいずれかに該当する者で、平成31年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>ア. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>イ. 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者</p> <p>ウ. ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者</p> <p>エ. フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者</p> <p>2. 要件</p> <p>次に掲げるすべての要件に該当すること。</p> <p>ア. 独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験(理系・文系のどちらでもよい)を受験し、その得点が400点以上の者</p> <p>①受験科目は、理系は日本語、理科(物理・化学・生物の3科目のうち、2科目を選択)、数学(コース1又はコース2のどちらでもよい)の3教科4科目とし、文系は日本語、総合科目、数学(コース1又はコース2のどちらでもよい)の3教科3科目とする。</p> <p>②出題言語は、日本語又は英語のどちらで受験してもよい。</p> <p>③利用する日本留学試験は、当該年度の6月実施分又は11月実施分のどちらでもよい。</p> <p>イ. 出入国管理及び難民認定法(昭和26年政令第319号)において大学入学に支障のない在留資格を有すること。</p>

別表3 特別入試（推薦A）

1) 推薦A: 大学入試センター試験を課さない推薦入試の実施教科・科目等

課程・選修・専攻		選考要件（配点）					
		調査書	競技歴 調査書	小論文	面接	実技	総点
初等教育教員 養成課程	教育科学選修	100	—	200	200	—	500
	音楽選修	100	—	100	50	250	500
	保健体育選修	100	100	100	100	100	500
中等教育教員 養成課程	教育科学専攻	100	—	200	200	—	500
	音楽専攻	100	—	100	50	250	500
	保健体育専攻	100	100	100	100	100	500
	技術専攻	100	—	100	300	—	500
特別支援学校教員養成課程		100	—	200	200	—	500

別表3 特別入試（推薦B）

2) 推薦B：大学入試センター試験を課す推薦入試の実施教科・科目等

課程・選修・専攻・コース	大学入試センター試験の利用教科・科目名		大学入試センター試験の配点							個別学力検査等の配点			配点合計		
	教科	科目名等	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	計	調査書	面接	計			
初等教育教員養成課程	幼児教育選修	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫理, 政経, 倫理・政経 [欄外<理科について>参照] 数Ⅰ・数A(必修) 数Ⅱ・数B, 簿記, 情報 英, 独, 仏, 中, 韓	2教科 から 3科目	200	*300	*300	200	*300	200	300※注	100	100	200	500
	数学選修	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫理, 政経, 倫理・政経 [欄外<理科について>参照] 数Ⅰ・数A(必修) 数Ⅱ・数B, 簿記, 情報 英, 独, 仏, 中, 韓	から1 から2	200	*100	*100	200	200	200	300※注	100	100	200	500
	理科選修	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫理, 政経, 倫理・政経 [欄外<理科について>参照] 数Ⅰ・数A(必修) 数Ⅱ・数B, 簿記, 情報 英, 独, 仏, 中, 韓	から1 から2	200	*100	*100	200	200	200	400※注	100	—	100	500
	生活科選修	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫理, 政経, 倫理・政経 [欄外<理科について>参照] 数Ⅰ・数A(必修) 数Ⅱ・数B, 簿記, 情報 英, 独, 仏, 中, 韓	2教科 から 3科目	200	*300	*300	200	*300	200	300※注	100	100	200	500
	家庭選修	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫理, 政経, 倫理・政経 [欄外<理科について>参照] 数Ⅰ・数A(必修) 数Ⅱ・数B, 簿記, 情報 英, 独, 仏, 中, 韓	2教科 から 3科目	200	*300	*300	200	*300	200	300※注	100	100	200	500
	英語選修	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫理, 政経, 倫理・政経 [欄外<理科について>参照] 数Ⅰ・数A(必修) 数Ⅱ・数B, 簿記, 情報 英, 独, 仏, 中, 韓	から1 から1 から1	200	100	100	200	100	200	300※注	100	100	200	500
	日本語教育選修	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫理, 政経, 倫理・政経 [欄外<理科について>参照] 数Ⅰ・数A(必修) 数Ⅱ・数B, 簿記, 情報 英, 独, 仏, 中, 韓	から1 から1 から1	200	100	100	200	100	200	300※注	100	100	200	500
	情報選修	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫理, 政経, 倫理・政経 [欄外<理科について>参照] 数Ⅰ・数A(必修) 数Ⅱ・数B, 簿記, 情報 英, 独, 仏, 中, 韓	2教科 から 3科目	200	*300	*300	200	*300	200	300※注	100	100	200	500
中等教育教員養成課程	数学専攻	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫理, 政経, 倫理・政経 [欄外<理科について>参照] 数Ⅰ・数A(必修) 数Ⅱ・数B, 簿記, 情報 英, 独, 仏, 中, 韓	から1 から2	200	*100	*100	200	200	200	300※注	100	100	200	500
	理科専攻	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫理, 政経, 倫理・政経 [欄外<理科について>参照] 数Ⅰ・数A(必修) 数Ⅱ・数B, 簿記, 情報 英, 独, 仏, 中, 韓	から1 から2	200	*100	*100	200	200	200	400※注	100	—	100	500

課程・選修・専攻・コース	大学入試センター試験の利用教科・科目名		大学入試センター試験の配点							個別学力検査等の配点			配点合計		
	教科	科目名等	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	計	調査書	面接	計			
中等教育教員養成課程	家庭専攻	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫理, 政経, 倫理・政経 [欄外<理科について>参照] 数Ⅰ・数A(必修) 数Ⅱ・数B, 簿記, 情報 英, 独, 仏, 中, 韓	2教科 から 3科目 から1 から1 [5教科7科目]	200	*300	*300	200	*300	200	300※注	100	100	200	500
	英語専攻	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫理, 政経, 倫理・政経 [欄外<理科について>参照] 数Ⅰ・数A(必修) 数Ⅱ・数B, 簿記, 情報 英, 独, 仏, 中, 韓	から1 から1 から1 から1 [5教科7科目]	200	100	100	200	100	200	300※注	100	100	200	500
	情報専攻	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫理, 政経, 倫理・政経 [欄外<理科について>参照] 数Ⅰ・数A(必修) 数Ⅱ・数B, 簿記, 情報 英, 独, 仏, 中, 韓	2教科 から 3科目 から1 から1 [5教科7科目]	200	*300	*300	200	*300	200	300※注	100	100	200	500
	養護教諭養成課程	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫理, 政経, 倫理・政経 [欄外<理科について>参照] 数Ⅰ・数A(必修) 数Ⅱ・数B, 簿記, 情報 英, 独, 仏, 中, 韓	2教科 から 3科目 から1 から1 [5教科7科目]	200	*300	*300	200	*300	200	400※注	100	—	100	500
	教育支援専門職養成課程	心理コース 福祉コース 教育ガバナンスコース	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫理, 政経, 倫理・政経 [欄外<理科について>参照] 数Ⅰ・数A(必修) 数Ⅱ・数B, 簿記, 情報 英, 独, 仏, 中, 韓	2教科 から 3科目 から1 から1 [5教科7科目]	200	*300	*300	200	*300	200	300※注	100	100	200

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

※基本的な大学入試センター試験の利用教科及び科目名欄は、別表2-1「一般入試（前期・後期）の実施教科・科目・配点等」16頁～23頁の当該欄と同様です。

地歴及び公民については、合わせて1教科とします。理科については、基礎を付していない科目は1つで1科目としますが、基礎を付した科目は2つで1科目とします。

地歴及び公民の科目において2科目を受験した場合の取扱については、地歴及び公民の受験科目を1科目と指定している場合は、受験した科目のうち第1解答科目の成績を用います。

理科の科目において基礎を付していない2科目を受験した場合の取扱については、理科の受験科目を1科目と指定している場合は、受験した科目のうち第1解答科目の成績を用います。

本学では、地歴について「世界史B、日本史B又は地理B」の点数を選抜に用いますのでご注意ください（世界史A、日本史A又は地理Aを受験した場合は、地歴の成績として選抜に用いません）。

また、公民について、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできません。「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「倫理」と「倫理、政治・経済」及び「政治・経済」と「倫理、政治・経済」の組合せをいいます。

簿記・会計、情報関係基礎を選択することができる者は、高等学校若しくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

外国語の「英語」に「リスニング」を含みます。（リスニングテスト免除者は除く。）

大学入試センター試験の外国語科目英語を利用する場合は、筆記試験（200点満点）・リスニング（50点満点）を200点満点に調整し、他の外国語（筆記試験のみ200点満点）と比較できるようにします。

<理科について>

科目	選修, 専攻, コース	科目の選択方法
「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	数学選修, 数学専攻 理科選修, 理科専攻	科目欄の8つから基礎を付していない4つのうち2つを選択する。
	英語選修, 英語専攻 日本語教育選修	科目欄の8つから基礎を付した2つ又は基礎を付していない1つを選択する。（※2, ※3）
	幼児教育選修 生活科選修	科目欄の8つから
	家庭選修, 家庭専攻 情報選修, 情報専攻 養護教諭養成課程 教育支援専門職養成課程 (心理コース, 福祉コース, 教育ガバナンスコース)	①「地歴・公民」1科目選択の場合は、基礎を付していない4つのうち2つを選択する。 ②「地歴・公民」2科目選択の場合は、基礎を付した2つ又は基礎を付していない1つを選択する。（※1, ※2, ※3, ※4）

※1 センター試験利用教科・科目のうち「地歴・公民」、「理科」の2教科からの選択利用となっている課程、選修、専攻、コースは、「地歴、公民」から1科目選択の場合と「地歴、公民」から2科目選択の場合の選択方法に区分した。

※2 基礎を付していない2つを受験した場合は、第1解答科目の成績を選抜に用いる。

※3 基礎を付した2つ及び基礎を付していない1つを受験した場合は、基礎を付した2つの成績と基礎を付していない1つの成績のうち、いずれか高得点の成績を選抜に用いる。

※4 地歴及び公民、理科の科目において2教科3科目と指定している課程、選修、専攻、コースについて、地歴及び公民から2科目、理科②から2科目受験した場合には、地歴及び公民、理科②のそれぞれ第1解答科目の成績を必ず用いる。また、3科目目については、地歴及び公民と理科②の第2解答科目のうち、いずれか高得点の科目の成績を選抜に用いる。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点】欄

配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。

※注：大学入試センター試験の配点を掛率により、300点又は400点に調整します。